

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

報告書 No.13F1195
平成 25 年 6 月 7 日

- ・ 申請者：(住所) 青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地
(氏名) むつ観光ホテル株式会社 代表取締役 菊池 薫
- ・ 源泉名：下道温泉
- ・ 湧出地：青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地湧出、源泉にて採水

1. 湧出地における調査及び試験成績

- ・ 調査及び試験者：環境保全株式会社 角田 健一
- ・ 調査及び試験年月日：平成 25 年 5 月 17 日
- ・ 泉温：40.1° C (気温: 17.0° C)
- ・ 湧出量：218 L/min (掘削動力揚湯)
- ・ 知覚的試験：微黄色澄明、無味無臭
- ・ pH 値：8.9

2. 試験室における試験成績

- ・ 試験者：環境保全株式会社 伊藤綾乃
- ・ 分析終了年月日：平成 25 年 6 月 7 日
- ・ 知覚的試験：微黄色澄明、無味無臭 (試料採水 52 時間後)
- ・ 密度：0.9981 g/cm³ (20° C/4° C)
- ・ 蒸発残留物：0.321 g/kg (110° C)
- ・ pH 値：9.2
- ・ 電気伝導度：30 mS/m

3. 試料 1kg 中の成分・分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン	(H+)	-	-	-
ナトリウムイオン	(Na+)	65.8	2.86	98.96
カリウムイオン	(K+)	0.5	0.01	0.35
カルシウムイオン	(Ca2+)	0.3	0.02	0.69
陽イオン計	-	66.6	2.89	100

(2) 陰イオン

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン	(F-)	1.5	0.08	2.63
塩化物イオン	(Cl-)	43.6	1.23	40.46
臭化物イオン	(Br-)	0.1	0.00	0.00
水酸化物イオン	(OH-)	0.1	0.01	0.33
硫酸イオン	(SO ₄ 2-)	22.2	0.46	15.13
リン酸水素イオン	(HPO ₄ 2-)	2.7	0.06	1.97
炭酸水素イオン	(HCO ₃ -)	20.8	0.34	11.19
炭酸イオン	(CO ₃ 2-)	25.8	0.86	28.29
陰イオン計	-	116.8	3.04	100

(3) 遊離成分・非解離成分

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸	(H ₂ SiO ₃)	222.1	2.84
メタホウ酸	(HBO ₂)	0.8	0.02
非解離成分計	-	222.9	2.86

溶存物質（ガス性のものを除く）：0.406g/kg

(溶存ガス成分)

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素	(CO ₂)	-	-
遊離硫化水素	(H ₂ S)	-	-
溶存ガス成分計		-	-

成分総計：0.406g/kg

その他微量成分

成分	記号	値	単位
リチウムイオン	(Li+)	<0.1	mg/kg
アンモニウムイオン	(NH ₄ +))	0.05	mg/kg
マグネシウムイオン	(Mg ²⁺)	< 0.1	mg/kg
アルミニウムイオン	(Al ³⁺)	0.05	mg/kg
マンガンイオン	(Mn ²⁺)	<0.005	mg/kg
総鉄イオン	(Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	0.02	mg/kg
銅イオン	(Cu ²⁺)	<0.05	mg/kg
亜鉛イオン	(Zn ²⁺)	0.027	mg/kg
カドミウムイオン	(Cd ²⁺)	< 0.001	mg/kg
鉛イオン	(Pb ²⁺)	<0.001	mg/kg
ヨウ化物イオン	(I ⁻)	<0.1	mg/kg
亜硝酸イオン	(NO ₂ ⁻)	< 0.05	mg/kg
硝酸イオン	(NO ₃ ⁻)	< 0.1	mg/kg
総ヒ素	(T-As)	0.001	mg/kg
総水銀	(T-Hg)	< 0.00005	mg/kg

4. 泉質：アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

5. 禁忌症、適応症等は別表に示す

温泉成分分析登録機関

- 登録機関：青森県第3号
- 名称：環境保全株式会社
- 代表取締役：大山 清悦
- 住所：青森県平川市松崎西田 41-10
- TEL：0172-43-1100（代）
- FAX：0172-43-1166

温泉分析書別表

I. 源泉名

- ・下道温泉

II. 源泉所在地

- ・青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地

III. 温泉分析申請者

- ・むつ観光ホテル株式会社
- ・代表取締役 菊池 薫
- ・青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地

IV. 泉質

- ・アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症

1. 温泉の一般的禁忌症（浴用）

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

2. 泉質別禁忌症（浴用の禁忌症）

一般的禁忌症に準ずる

3. 療養泉の一般的適応症（浴用）

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器疾患、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

4. 泉質別適応症（浴用の適応症）

一般的適応症に準ずる

浴用の一般的注意事項

1. 温泉療養を始める場合は、**最初の数日間の入浴回数を1日当たり1回程度**とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
2. 温泉療養のための**必要期間は、おおむね2ないし3週間**を適当とすること。
3. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に**湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）**が現れることがある。
 - 「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 -
4. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - **ア. 入浴時間**：入浴温度により異なるが、初めは**3分ないし10分程度**とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - **イ. 安静**：入浴中は、運動浴の場合は別として一般には**安静**を守る。
 - **ウ. 温泉成分**：入浴後は、身体に付着した温泉の成分を**水で洗い流さない**（湯ただれを起こしやすい人は逆に**入浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取る**のがよい）。
 - **エ. 湯冷めと安静**：入浴後は、湯冷めに注意して**一定時間の安静**を守る。
 - **オ. 高温浴（42℃以上）の禁忌**：次の疾患については、原則として**高温浴（42℃以上）を禁忌**とする。
 - 高度の動脈硬化症
 - 高血圧症
 - 心臓病
 - **カ. めまい等**：熱い温泉に急に入ると**めまい等**を起こすことがあるので十分注意する。
 - **キ. 食事**：食事の直前・直後の入浴は**避ける**ことが望ましい。
 - **ク. 飲酒**：飲酒しての入浴は特に**注意**する。